

平成19年度 第4回幹事会議事録

能代高校東京同窓会

日時：平成19年7月13日（金）18：30～20：15

場所：築地社会教育会館 3階 第3洋室

東京都中央区築地 4-15-1

出席：出席者 24 名

山縣輝輔24・畠豊彦25・畠山信孝26・佐々木章26・太田勝治29・
石川正順29・宮腰興紀29・関根市男29・深井学36・豊嶋誠38・
大塚進39・菅原涉39・小河範也 41・庄内俊憲44・三浦洋45・
袴田邦夫45・石井喬46・吉田真由美46・松永京子49・袴田亘51・
吉田順53・淡路和子55・大高忠勉62・小野立67

議事録署名人：石川正順29・庄内俊憲44

議事録作成人：松永京子49

【 会長挨拶 】

太田会長より、「樽子山会」「東京探訪の会」と新しい同好会が二つ発足し、活発に活動している。会報誌への投稿も沢山集まっている、引き続き協力を、との挨拶があった。

【 新メンバーの紹介 】 袴田亘51が自己紹介をした。

菅原幹事長が議長を務め、幹事会の議事に入った。

審議事項

懇親会費・年会費の改正提案について 三浦委員長

活性化推進特別委員会メンバーで「東京同窓会年会費と懇親会費の改定」に関して話し合い、その内容を別紙資料（議事録末尾に添付）に基づき説明した。

〔 説明に対しての主な意見 〕

女性の懇親会費をいきなり二千円値上げするのはどうか？

他の割引とダブルで値引きするのはわかりにくいのではないか？

受付の事前準備を万全にすれば大丈夫のはず。

事前の返事無しに急に来る人がトラブルになるのでは？

急に来る人は、例年は何人くらいか？ 昨年で10人くらい。

昨年も事前に各人ごとに受領すべき金額を出して準備をしていたし、今年は組織委員会とも相談をして受付人数を増員し対応をすれば大丈夫と思われる。

学生証を当日持参しなければ学生割引は適用されないのか？

出席者の自己申告を尊重して、参加者に決して気分を害されることがないようにを原則としたい、あくまでもこれらの確認ルールは柔軟に考えるべきである。20代の人に1万円の会費はやはり負担が多すぎるようなのでこの割引制度はあった方が良くと思われる。これらの割引制度を昨年の出席者に当てはめて計算しても12,000円程度の減収であり、収支的にも問題は無さそうである。

エスコト割引は - 3,000 円ではなく、定額で3,000円にしては？

若者割引の区切りは 40歳未満が良い。

エスコト割引の名称はわかりにくいのでは？（付添い人割引）との但し書きをつけるとわかり易い。

女性会費を男性会費と同額にするというのは、女性会員からの申し出でもあるし、今の時代はこれで問題ないのでは？

以上の話し合いの結果、各年次とも年会費の免除や割引は一切無し（年会費世帯制は維持）として、今年度は懇親会費の割引について提案の内容でやってみることが満場一致で承認された。

総会案内の発送の基準について。（菅原幹事長）

別添資料を参照しながら発送基準に関しての説明をした。

二年くらい続けないと正確なデータが取れないので、今年度も昨年と同じ基準のまま継続してみたい。ただし反応ありグループの調査期間は5年前までとしたい。

今年度は封書での案内発送は 486 名の予定。（昨年は 465 名だった）

「能球会」「五日会」「樽子山会」「東京探訪の会」などの各同好会への出席者、又は案内状の発送希望と連絡を頂いた方へは封書扱いで発送する。

HP上で反応ありグループは青色の表示にしてあるので、各幹事や同好会担当者は確認し、変更が必要な場合には連絡して欲しい。

今年度は総会担当の当番期が 29期、39期、49期なので、これらの期には全員に発送する。

以上の提案に対して特に質問もなく満場一致で承認された。

今年度の総会、懇親会について。（宮腰組織委員長）

当日のタイムテーブルについては、受付開始12：00、総会開始12：30、総会終了13：20、講演13：30、懇親会開始14：00頃～と考えている。

講演の講師としては27期若松正雄氏（シダックス副社長）演題『時代の変化と共に歩んだ映画屋、そしてカラオケ屋』

昨年より「関東のしる会」の会場もシダックスさんを利用させて頂いており、若松氏には大変お世話になっている。

懇親会内容、来賓挨拶、アトラクション 38期の金野正道氏の尺八演奏

佐藤祐子氏（能代北高校卒のオペラ歌手）各同好会の活動報告等々を予定している。

以上の内容を提案したい。

(意見)

なるべく総会や講演のつなぎ目の時間を詰めて懇親会の開始時刻を13時半くらいになるように工夫したい(菅原)

テーブルは着席スタイル。テーブル割りは事前にしっかり作成し準備をして昨年のような混乱が無いようにする(宮腰)

今回の講演講師の若松氏やアトラクションの金野氏など全員無料でお引き受け頂いているが、当日の控え室料金のみ発生するかもしれない(小河)

恩師の北川和子先生が出席して下さる予定だが、教え子の皆さんが個人的に招く予定(三浦)

以上の提案に対して満場一致で承認された。

《 報告事項 》

月次決算報告 (報告: 佐々木章財務委員長)

平成19年7月12日現在の月次決算の報告を末尾添付の報告書に基づき説明した。なお現在は月末ごとにHP上で月次決算書を公開している。その他大きな金銭の動きがあった時点でも掲載内容を更新しているので確認して欲しい。

(意見)

会員から徴収した年会費は「このように使っています」とHP上で告知してはどうか?(庄内) 意見を取り入れ、告知内容を工夫することになった。

新しい同好会の発足について。

『樽子山会』(報告: 畠豊彦25)

役員は会長: 畠豊彦25、幹事長: 山縣輝輔24。旧能中・樽子山校舎の出身者が主なメンバーで30期 65歳以上ぐらいが会員。去る5月26日発足懇親会実施。19名が出席。(旧制7名新制12名)

会の目的は「後輩や母校のために出来ることを考えていくこと」

メールやFAXなどのツ-ルを持たない会員も多いので、当日は「東京同窓会だより」をコピーして配布した。

会員より総会当日に「旧制能中出身者の席」を設けて欲しいとの希望があった。

(意見)

「樽子山会」への出席者でも「東京同窓会」へは参加していない会員も多いので、関係者は積極的に参加を促していくべきではないか(石川)

「同好会」以外にも各期の同期会も開催されているが、出席人数は同期会の集まりの方が圧倒的に多い様だ。こちらも「同期会」参加者が「総会」へも参加してくれる様に関係者の皆さんはご協力をお願いしたい(菅原)

『東京探訪の会』(報告: 吉田真由美 46)

この会は、日常あまり触れることのない東京を訪ねて再発見するというコンセプト。6月16日(土曜日)に第一回の会「皇居東御苑を散策の会」を実施した。当日は家族同伴者も含めて10名参加し、とても楽しく有意義だったと好評。次回は秋頃に開催予定。今後は会報やブログ上でも案内し参加を呼びかけていく。

母校との意見交換会について。(報告：菅原幹事長)

3月16日に、本校の井上校長先生と進路主事の藤原先生が上京する機会があり、これに合わせ東京同窓会からは太田会長以下8名が出席して意見交換会の場を設けた。

- ・菅原幹事長が後日届いた井上校長からの礼状(学校の考えが良く理解できる)を読み上げて当日の主旨を説明した。
- ・当日学校側へは、東京同窓会として母校・在校生への貢献をしていきたいと考えるが、詳細については次回の幹事会にはかって相談してみるとした。
- ・現在学校側から正式に具体的な依頼をされた訳ではないが、将来的には出来るだけの協力をしていく方向で考えていきたい。ただそれには形式や方法、費用負担などの様々な検討すべき点がある。
- ・学校側には、東京同窓会としては全面的に協力する意思があることは伝えたので、今後どのような形で協力をしていくかの詳細を次回の幹事会などで検討していきたい。

以上の話し合いの纏めとして「母校からの要請にはできるだけ応えていくと言う方針で宜しいでしょうか?」と意見を求めたところ、全会一致異議無しで承認された。

(意見)

先般本校の校長を訪問した際に意見交換した。卒業式の前日に「同窓会入団式」があるようなので、その機会に「東京同窓会」からも参列し当会に関しての案内説明をしてはどうか? また、卒業時に葉書を渡すなどして、希望者にアドレスを記入してもらうなどの方法も検討してはどうか?(三浦)

秋高連について (報告：畠山信孝26)

秋校連は現在参加校が41校。参加校の親睦と秋田県政への貢献を趣旨としている。本年は会則を改正し会の再生を目指している。各校同窓会から運営委員を2名ずつ選出することになった。この運営委員会が秋高連の最高議決機関になる。

(意見)

秋高連に派遣する人員に関して幹事会も会長も知らない人事が見られた。能代高校の看板を背負って活躍してもらう以上、それにふさわしい人員を皆で検討して派遣すべきではないか、少なくとも一部の人は知らない様な恣意的な人事は止めた方が良いと思う(菅原)

会報誌の進捗状況 (報告：三浦副委員長・淡路和子55)

寄稿を募っていたところ多くの原稿が集まった。会報の内容は袴田氏所有の懐

東京同窓会年会費と懇親会費の改訂(案)

2007年7月13日

活性化推進特別委員会

昨年度実施した、年会費の世帯制度と 初参加者の年会費免除について

年会費の世帯制度はこのまま続行

初参加者の年会費免除は、その趣旨は生かしつつ、若い世代がより参加し易くなるように形態を変える。

懇親会費を男女同額とする。

新たに学生および同窓生以外のゲスト参加者も考慮。

(理由)

昨年度の方式は会費納入者リストと財務諸表上の納入者数にズレが生じる。ズレに関する理由書を添付すれば良いが、両者が一致していることが更に望ましい。

今後女性同窓生の増加が見込まれることと、男女間に差をつける必要が無いとの意見が出たことを尊重した。ただし、この部分のみ値上げにつながるので、幹事会で十分に審議していただきたい。

(改訂案の趣旨:委員会案)

年会費は同窓生の全員から徴収(但し世帯制は継続)して、懇親会費に 初参加者割引、若者割引、エスコート割引、同窓生以外のゲスト割引、および 学生割引を新たに導入する。

これまでの通常徴収金額は次の通りである

男性年会費3,000円 + 懇親会費7,000円の合計10,000円

女性年会費3,000円 + 懇親会費5,000円の合計8,000円

上記懇親会費からつぎの金額を割引く

初参加者割引 -3,000円

若者割引 -3,000円

今後同窓会に参加してほしい年代である30才台、およびその予備軍であるそれ以下の世代からの参加者を増やすことを考慮。

適用範囲は社会人でありかつ40才未満の方とするが、実際には卒業期で分けする。

今年度の場合は第56期生以降に適用される。

40才未満とした理由は、特に20才代には経済的負担をかけないように考慮、30才台には更に現在参加者が少ない年代であることを考慮して、まずは参加し易い金額として認識してもらえるように。45才未満との案もあったが、年代の区切りには正解がないので切がない。

なお、初参加者割引と 若者割引は重複可とする

エスコート割引 -3,000円(同窓生の有無を問わない。同窓生の場合、年会費は世帯割引を適用して徴収しない。)

*健康に自信がなくなった、暗くなるとちょっと足下が不安と言うベテラン層のため

*介添え者は殆どが奥さんでありあまり飲食は多くないと思う。

とりあえず本案では混乱を招かないように他の割引と同じ金額としたが、エスコート者の事情を考慮してこの割引額のみ4,000円とし3,000円徴収することも考えられる。

当日の幹事会で、エスコート割引対象者は定額の3,000円に決定した。

学生割引 -7,000円(*懇親会費を男女同額とした場合)

同窓生であり専門学校、大学、大学院生であることを学生証等で確認できる方が対象
年会費のみ3,000円徴収する。

**当日の幹事会で、女性の懇親会費だけが2,000円値上がりになるのは心苦しいが
今年は一回この形でやってみよう決定した。**

徴収金額の例

第56期(今年度40才未満)以降の社会人で初参加者(従来男10,000円女8,000円)は

が適用されて 男女共に4,000円

第56期(今年度40才未満)以降の社会人で2回目以上の参加者(従来男10,000円女8,000円)は

が適用されて 男女共に7,000円

専門学校生、大学生、大学院生の参加者は、参加回数に関わらず学生である限り

が適用されて 男女共に3,000円

エスコート者、他校卒業者(友人等)

年会費無し、懇親会費のみ3,000円(あるいは4,000円)割引くので

が適用されて 男女共に3,000円

各年次とも年会費の免除・割引は無し

以上

総会開催の案内を送る期

2007.07.13幹事会決定

年齢	2006年	2007年	2008年	2009年
90才	4期	5期	6期	7期
89才	5期	6期	7期	8期
88才	6期	7期	8期	9期
87才	7期	8期	9期	10期
86才	8期	9期	10期	11期
85才	9期	10期	11期	12期
84才	10期	11期	12期	13期
83才	11期	12期	13期	14期
82才	12期	13期	14期	15期
81才	13期	14期	15期	16期
80才	14期	15期	16期	17期
79才	15期	16期	17期	18期
78才	16期	17期	18期	19期
77才	17期	18期	19期	20期
76才	18期	19期	20期	21期
75才	19期	20期	21期	22期
74才	20期	21期	22期	23期
73才	21期	22期	23期	24期
72才	22期	23期	24期	25期
71才	23期	24期	25期	26期
70才	24期	25期	26期	27期
69才	25期	26期	27期	28期
68才	26期	27期	28期	29期
67才	27期	28期	29期	30期
66才	28期	29期	30期	31期
65才	29期	30期	31期	32期
64才	30期	31期	32期	33期
63才	31期	32期	33期	34期
62才	32期	33期	34期	35期
61才	33期	34期	35期	36期
60才	34期	35期	36期	37期
59才	35期	36期	37期	38期
58才	36期	37期	38期	39期
57才	37期	38期	39期	40期
56才	38期	39期	40期	41期
55才	39期	40期	41期	42期
54才	40期	41期	42期	43期
53才	41期	42期	43期	44期
52才	42期	43期	44期	45期
51才	43期	44期	45期	46期
50才	44期	45期	46期	47期
49才	45期	46期	47期	48期
48才	46期	47期	48期	49期
47才	47期	48期	49期	50期
46才	48期	49期	50期	51期
45才	49期	50期	51期	52期
44才	50期	51期	52期	53期
43才	51期	52期	53期	54期
42才	52期	53期	54期	55期
41才	53期	54期	55期	56期
40才	54期	55期	56期	57期
39才	55期	56期	57期	58期
38才	56期	57期	58期	59期
37才	57期	58期	59期	60期
36才	58期	59期	60期	61期
35才	59期	60期	61期	62期
34才	60期	61期	62期	63期
33才	61期	62期	63期	64期
32才	62期	63期	64期	65期
31才	63期	64期	65期	66期
30才	64期	65期	66期	67期

発送基準は以下を原則とし、適宜修正を加える

(グループ分け)
反応ありのグループ
 過去5年以内で総会出席・年会費納付・欠席回答等が一度でもあった人
反応なしのグループ
 過去5年間、案内に対して全く反応がなかった人

(原則 1) 反応ありのグループの扱い
反応ありのグループ、および案内要請があった人は毎年発送する
 幹事会・能高五日会・能球会その他同好会等の行事参加者には毎年発送する

(原則 2) 反応なしのグループの扱い
 60才以上は毎年発送
 55～59才は2年に1回の発送
 50～54才は3年に1回の発送
 45～49才は4年に1回の発送
 44才以下は5年に1回の発送
 初回発送は32才から
 総会当番期は年齢に関係なく発送(ブルーの帯表示)
 *当番制に配慮した結果46・47才は連続発送

(原則 3) 上記原則2の例外扱い
 80才以上で過去5年間何ら反応が無かった人は発送停止にする
 *体調不良・健康不安から参加できないとの回答者が多い
 70才以上で**反応なしのグループ**は隔年案内に切り替える
 *60才からの毎年の案内に一度も回答ハガキを出さなかった人で
 出席の意志の無い人が無関心の人か?

2007年総会の案内通知について

反応ありのグループは封書として、会報誌・年会費振込票・回答ハガキを同封する

反応なしのグループは往復葉書での案内とする

往復葉書での案内の場合はこれまでの経験から
 年会費納入の期待は薄いと言う現実があるが、
 全く反応がない人は会費納入も期待できない
 コストを軽減した方法でねばり強く働きかけたい
 欠席等、何らかの反応があれば、翌年から 扱いに変更

平成19年度 収支決算報告書

(平成18年9月1日～平成19年8月31日)

2007.07.12現在

	予 算	決 算	実施率	備 考
(収入の部)				
1 総会収入	740,000	674,000	91.1	
2 懇親会費	670,000	574,000	85.7	会員84名、家族1名
3 来賓ご祝儀	70,000	100,000	142.9	能代商業・能代西高(15,000円)、能代高校・本校同窓会・能代工業・能代北高・東京鳳鳴会・東京伊勢堂会・秋高連(10,000円)
4 会費収入	480,000	434,000	90.4	
5 年会費	480,000	434,000	90.4	145名 *総会初参加者は当年度分免除あり *世帯制導入 *2,000円の振込み1名
6 雑収入合計	110,040	138,107	125.5	
7 寄付金	0	42,578		「きくち、窓口募金箱」菊地忠夫(13,578円)、佐々木章(12,000円)、熊谷洋三(10,000円)、矢口裕(7,000円)
8 幹事寄付金	110,000	75,000	68.2	太田勝治(20,000円)、菅原渉(15,000円)、金野峻明・畠山信孝・佐々木章・大塚進・関根市男・宮腰興紀・田村盛仁・干場革治(以上5,000円)
9 会報誌誌広告料収入	0	20,000		和作(加藤和海36)、きくち(菊地忠夫43)(以上10,000円)
10 受取利息	40	529	1,322.5	
11 収入の部当期合計	1,330,040	1,246,107	93.7	(1+4+6)
12 (支出の部)				
13 総会費	1,065,000	944,449	88.7	
14 総会・懇親会開催費	760,000	661,689	87.1	出席者総数103名
15 会報誌制作費	170,000	175,350	103.1	会報誌・返信葉書500部、往復葉書700部
16 総会案内・会報送料	100,000	86,410	86.4	1,111名に発送 *幹事さんには幹事会の折に手渡して節約
17 総会配布資料作成費	35,000	21,000	60.0	総会の時に皆さんに配布した資料
18 組織拡張関係費	22,500	17,835	79.3	
19 同窓会だより発行費	22,500	17,835	79.3	87通郵送
20 一般管理費	240,000	133,964	55.8	
21 会議費	15,000	8,834	58.9	
22 交流費	150,000	110,000	73.3	能代工業、鷹巣農林、本校同窓会、能代商業、秋高連委員会、秋高連年会費、能代西高、大館鳳鳴
23 広告費	45,000	0	0.0	
24 通信費	10,000	6,900	69.0	
25 印刷費	10,000	0	0.0	
26 消耗品費	5,000	510	10.2	
27 雑費	5,000	7,720	154.4	年会費振込の際の郵便振替口座手数料
28 慶弔費	0	0		
29 支出の部当期合計	1,327,500	1,096,248	82.6	(13+18+20)
30				
31 当期収支額	2,540	149,859		(11-29)
32 前期繰越金	771,429	771,429		前年度から引き継いだ金額
33 次期繰越金	773,969	921,288		来年度へ繰り越す金額(31+32)
34				
35 現在の資産		921,288		残高確認日
36 手許現金		25,421		2007/6/30
37 郵便貯金		895,867		2007/6/30
38 郵便振替口座		0		2007/6/30

青文字での表示は、前回の報告から数字が変わった項目です